

Labo News vol.12

～ 検査・輸血細胞治療部からのお知らせ～

Labo Newsは富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部ホームページから閲覧できます。
<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/clla/index.html>
 サイボウズ掲示板「検査部から」よりカラーで閲覧・印刷できます。
 編集：富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 広報委員会



新技師長・副技師長のあいさつ



横田技師長

新年度より臨床検査技師長となります、横田綾（よこた あや）と申します。生まれは神奈川県横浜市鶴見区です。2001年に富山県に引っ越し、検診センター、クリニック勤務の後、2010年に富山大学附属病院に入職致しました。臨床検査にも色々分野がありますが、大学卒業後一貫して生理機能検査に携わっており、乳腺超音波検査、消化器超音波検査を専門としておりました。これからは部内の管理者として、検査・輸血細胞治療部員へ知識や技術を習得する機会の提供や、働きやすい環境づくりを心して進めていきたいと考えています。その上で、今年度は、検査・輸血細胞治療部として、「安全」に気を配り、測定手順が「正確」で、臨床のニーズを満たす「迅速」な結果報告が出来る検査・輸血細胞治療部を目指します。私たちは、今までも検体検査における検体採取受付から検査結果送信に至るまでの所要時間を各プロセス（検体採取受付～検体採取～検体受付～検体調整～測定～測定結果の確認～結果送信）ごとに分析して、業務改善を進めて参りました。診療科の医師や患者さんから頂いておりますこの品質に対する信用を、今後も継続して守っていきます。また、新たに出現してくる課題に素早く対応し、診療と病院経営に貢献できる検査・輸血細胞治療部にしたいと考えておりますので、病院関係者の皆様、どうぞよろしくお願い致します。



2021年5月より副技師長をスタートさせていただきました。これまで患者さんに少しでも速く正確な結果を報告することをモットーに業務に取り組んで参りました。昨年は当部の方針である「正確で迅速な検査」を継続するべく採血受付から報告までの詳細な時間の分析を行いました。今年度は分析結果からの改善を行い、患者、臨床へのサービスの向上に努めたいと考えております。また部門の垣根を超えた業務運営、臨床検査技師が働きやすい検査・輸血細胞治療部構築に貢献したいと思います。

これからは、仁井見検査部長、横田臨床検査技師長の指揮のもと、検査部運営の一翼を担いたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



多賀副技師長



森田副技師長

今年度から副技師長に就任し、横田さんから当部の品質マネジメントシステム（QMS）における品質管理者を引き継ぐこととなりました。当部は2008年に国際規格「ISO15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)」の認定を取得し、これまで14年間維持してきました。品質管理者は部長・技師長の指揮のもと、ISO15189に基づくQMSの運用状況を監督し、改善に導く重要な役割です。

皆様からのニーズにお応えするべく、これまで以上に効率的なシステム運用を目指し頑張っておりますのでよろしくお願い致します。



裏面へ



心電図ファイリングシステムが新しくなりました！

2022年1月より電子カルテの心電図ファイリングシステムが新しくなりました。
安静時十二誘導心電図/小児心電図だけでなく、ホルター心電図、トレッドミル検査、CPX、血圧脈波検査の結果も電子カルテから参照できます。

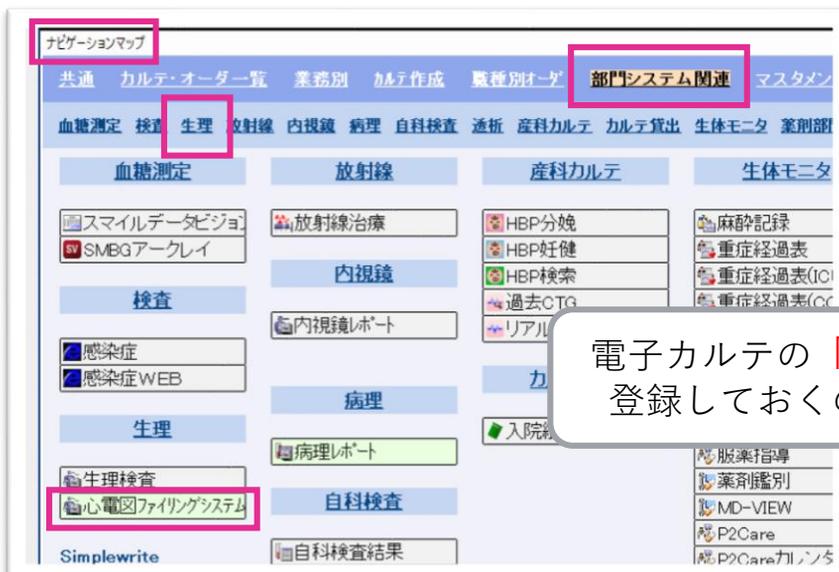
- ①  印刷: あらかじめ設定された印刷対象が印刷されます
- ②  表示画面印刷: 現在参照している画面が印刷されます
- ③  テキスト: 計測値をテキストで表示します。コピーして電子カルテにペーストできます
- ④  クリップ: 表示画面をキャプチャーして画像ファイルの形で保存できます
- ⑤  12L安 2件比較 4件比較 10件比較 最大10件までの画像を比較参照できます
- ⑥  計測: 手動計測、デバイダ、平行定規による計測が可能です



詳しくは、電子カルテトップページより、
2022年新システム操作マニュアル「No.126 生理検査部門システムについて」をご参照下さい。

閲覧方法

[ナビゲーションマップ](#) > [部門関連システム](#) > [生理](#) > [心電図ファイリングシステム](#)



電子カルテの「お気に入り」に登録しておくのがオススメ♪

